

高等教育機関教職員のための 人材育成プログラム

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、加盟機関の教職員を対象とした「人材育成プログラム」を開催いたします。皆さんと共に学びその成果を日常業務で活用できるよう、高等教育機関が抱える様々な課題や最近のトピックに関する内容を準備いたしました。教職員の皆さん一人ひとりが輝き、より良い大学運営が成されるように、多くの方のご参加をお待ちしております。

第1回 5月17日(金)

受講者相互採点・採点者評価による新しい主体的学び・
成績評価・授業評価システム

横田 康成(岐阜大学 工学部 教授)

第2回 6月7日(金)

日本高等教育評価機構が求める認証評価における内
部質保証について

陸 鐘旻(日本高等教育評価機構 評価事業部兼
評価研究部 部長)

第3回 7月26日(金)

大学教育の中での生成AIの活用と問題点について

加藤 邦人(岐阜大学 工学部 教授/
人工知能研究推進センター長)

第4回 8月30日(金)

高等教育における生成系AI -活用の可能性とその影響-

和嶋 雄一郎(名古屋大学 教育基盤連携本部
高等教育システム開発部門/高等教育研究センター
特任准教授)

第5回 11月1日(金)

質保証のためのIR入門 ~基礎知識とスキルの観点
から~

荒木 俊博(淑徳大学 学長室 課長)

司会:白村 直也(教育連携推進部会/
岐阜大学 教育推進・学生支援機構 准教授)

開催時間:14:00~16:00

開催方法:オンライン (Zoomミーティング)

参加申込方法

各回とも加盟機関を通じ参加希望者を募ります。
今年度もオンライン (Zoomミーティング) で開催い
たします。すべての回において、オンデマンドによる
後日配信での受講も可能です。(事前申込必要)

問合先:ネットワーク大学コンソーシアム岐阜
(岐阜大学 学務部教学企画課)

TEL : 058-293-2135

FAX : 058-293-3484

HP : <https://www.gifu-uc.jp/>

令和6年度人材育成プログラム【講義詳細】

第1回 5月17日(金)

受講者相互採点・採点者評価による新しい主体的学び・成績評価・授業評価システム

受講者数の多い大規模クラスにおいては、他人からの学びや他人への発信など受講者相互の交流が行いにくく、また受講者からのレポートの教員による採点が現実的に困難である問題がある。受講者相互採点と採点者評価を取り入れることにより、主体的な学び、高い精度の成績評価、さらには授業評価をも同時に実現するシステムを紹介する。

第2回 6月7日(金)

日本高等教育評価機構が求める認証評価における内部質保証について

日本高等教育評価機構では、内部質保証の実質化の促進や評価の効率化などを目指して、令和7年度からスタートする第4期の認証評価システムの改正を行いました。この研修では当機構の認証評価における内部質保証について、三つのポリシーを起点とする教育の質保証と中長期的な計画を踏まえた大学全体の質保証の両面から大学の改善・改革につなげる仕組みを中心に解説し、少しでも各大学の内部質保証の充実のための理解が深まれば幸いです。

第3回 7月26日(金)

大学教育の中での生成AIの活用と問題点について

本講演では、大学教育における生成AIの活用方法と、それに伴う問題点について紹介する。生成AIは、教材の自動作成や学習サポートツールとしての可能性を秘めているが、その使用には倫理的な問題や著作権の課題が伴う。生成AIの技術的な概要を説明し、教育現場での具体的な活用例、倫理的、法的問題点を紹介する。また、今後どのように教育に活用できるか生成AIの未来を展望する。

第4回 8月30日(金)

高等教育における生成系AI -活用の可能性とその影響-

生成系AIの登場により、高等教育に与える影響について、良い面と悪い面の両方で多くの議論がなされています。一方で、生成系AIの利用度には幅があり、さらに生成系AIの新しいサービスも日々発表されており、生成系AIについての理解が深まらず、そういった議論に追いついていないと感じている方も多いのではないかと思います。そこで、本セミナーでは、生成系AIの特徴を分かりやすく紹介し、高等教育におけるその活用方法を解説します。これにより、高等教育におけるAIの導入方法、そしてその際の利点と注意点をまとめてみたいと思います。

第5回 11月1日(金)

質保証のためのIR入門～基礎知識とスキルの観点から～

教育マネジメント・内部質保証への取り組みにおいて、IRは不可欠な機能の一つです。ICTやデータサイエンスの進展により、データの集計分析が以前にも増して容易になっています。この環境下で、IRは利用可能な技術を活用し、要望に基づく迅速なデータ集計、分析、レポートの作成を行う必要があります。本講演では、IRの知識とスキルを、基礎から最新の動向に至るまで幅広く紹介し、参加者の理解を深めることを目指します。